



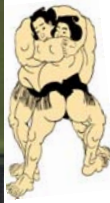
アントニオ猪木の乾杯で祝賀会



千代の富士の還暦土俵入り



ゴルフの後、砥部焼にご満悦(平成24年8月)



砥部町役場へ(平成22年8月)

しよんちゃんのお楽しみ日記 ㊥

「千代の富士還暦土俵入り」の巻

五月三十一日、九重親方から還暦土俵入りの案内を頂き、一生に一度のことと思ひ東京在住の長男を誘つて両国国技館に出掛けて来ました。

親方とのご縁は子規堂の田中和尚が自分でも作陶する程、焼き物好きの親方を砥部焼の里にお連れくださったことに始まり。それ以来、来松の時にはご来町頂いたり、ゴルフや夕食をご一緒させて頂いております。

非常に気さくな人柄でゴルフの腕前は相当なもので飛距離もサスガです。

さて、横綱の還暦土俵入りは昭和十二年の第二十二代横綱太刀山が最初で今回の五十八代横綱千代の富士が十人目です。

昔、力士は大食や厳しい稽古、取り組みで短命と言われ戦前は太刀山、栃木山、常ノ花の三人しかいませんが、最近是我的知っている栃錦、若乃花、大鵬、北の富士、三重ノ海、北の湖と続いており、お相撲さんも随分長寿になつてきたと思ひます。

本題の千代の富士の土俵入りですが赤い綱を締め、太刀持ちには白鵬、露払いは日馬富士の現役横綱を従え「雲龍型と言えは千代の富士」と言われた迫力満点の土俵入りで感激しました。

その後、祝う会が催され、同じテーブルにはレスリングオリンピック三連覇の吉田沙保里選手、隣のテーブルにはアントニオ猪木そしてボクシングの亀田兄弟等々有名人も多数見えられていました。

又、ステージでは綾小路きみまろのトークショーそして細川たかしの歌など豪華版で大いに盛り上がりました。

終わつてから息子と二人で居酒屋に入つて相撲甚句を聞きながら酒を酌み交わし、親子の絆を再確認しました(?)



日本交通社代表取締役
中村剛志